



『赤ちゃんと言葉』

保健医療課健康推進係 ☎0824・73・1255

赤ちゃんは言葉が話せない時期でもたくさん情報を吸収しています。まだ会話ができなくても、積極的に話しかけることがとても大切です。赤ちゃんをよく観察し、「言葉かけ」をすることで、赤ちゃんの脳の発達を促すだけでなく、母子の絆も深め、一緒にいる時間が楽しめるようになります。「言葉かけ」は、お母さんにとっても大切なことなのです。

オムツを換えるよ

気持ちがいいね



「言葉かけ」のためのヒント

① **赤ちゃんの動きをまねしてみる**
赤ちゃんは自分と同じ動きをしてくれる大人に興味を持ち、観察したり誘いかけたりします。

② **赤ちゃんの出す声や音をまねしてみる**

赤ちゃんがご機嫌なときに出す「プープー」といった声をまねしてあげると、音を出すことを楽しむようになります。

③ **赤ちゃんの気持ちを言葉で言ってみる**

赤ちゃんがどんな気持ちでいるのか観察して、「楽しいね」「嫌だったんだね」などと言ってあげましょう。

④ **大人が自分の気持ちや行動を口にする**

自分の行動を口にする、赤ちゃんはそんな大人の姿を見て、言葉の意味を知ることができます。

⑤ **間違えた言葉をさりげなく直す**
子どもの言葉に間違いがあっても、言い直しや訂正するのではなく、さりげなく直して返してあげましょう。

ちより!

ほんとだね、
鳥だね、
どこにいくのかな?



⑥ **子どもの言葉を返して返す**

子どもの発言から、話題を少し広げて返しましょう。

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824・72・0110

高齢者を狙った 特殊詐欺に注意!

県内の8月20日現在の特殊詐欺被害の発生状況は、認知件数が1331件、被害総額が約5億3600万円にのぼり、依然として発生が続いています。庄原警察署管内ではことしに入り、認知件数が2件、被害総額が約330万円となっています。

庄原警察署管内の2件は、名義貸しの解決金名目で現金を要求する架空請求詐欺と、リゾートホテルの購入権名目で現金を要求する金融商品等取引名目詐欺の手法で、高齢者をだましています。昨年比べて、特殊詐欺全体の認知件数や被害額は減っていますが、「還付金詐欺」だけは増加しています。

庄原警察署管内でも、東城町内で、7月中、市役所職員をかたる犯人が「医療費の還付金がある」「ATMで手続きができる」などと言って電話をかけてくる事案が発生しています。

被害にあわないために

電話で「もうかりますよ」「お金が返ります」などのお金の話が出たら、それは「詐欺」だと思ひましょう。
「即断」より「相談」! 不審な電話がかかってきたら、一人で決めず、家族や知人、警察に相談しましょう。

